



表中の赤字は警報基準値超え

定点医療機関あたりの報告数	年間を通して流行する感染症								今流行している感染症							
	新型コロナ				急性呼吸器感染症 (ARI)				感染性胃腸炎				A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			
	3/2~3/8	~3/15	~3/22	~3/29	3/2~3/8	~3/15	~3/22	~3/29	3/2~3/8	~3/15	~3/22	~3/29	3/2~3/8	~3/15	~3/22	~3/29
松戸保健所管内 (松戸、流山、我孫子)	3.15	2.95	1.25	1.00	94.35	94.20	80.20	77.55	10.00	7.27	6.45	6.55	4.82	5.18	4.36	3.73
定点医療機関数	20				20				11				11			
前週比	↑	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↑	↓	↓	↑	↑	↑	↓	↓
コメント	年齢ごとの患者の割合に大きな差はありませんでした。0歳から29歳……30% 30歳から59歳……35% 60歳以上……35%				急性の鼻・のど・耳・気管支・肺などの感染症の総称です。0歳から29歳の患者の割合が全体の7割以上を占めています。				学校では新学期が始まり、人との交流が増えます。手洗い・咳エチケット等感染対策を心がけましょう。				松戸保健所管内の定点当たりの患者数は、千葉県と比較すると多くなっています。周囲に感染された方がいる場合は、タオルの共用は避けましょう。			
千葉県	1.34	1.40	1.16	1.06	60.96	60.68	51.91	53.79	5.59	4.94	4.07	4.16	2.65	3.05	2.53	2.53
前週比	↓	↑	↓	↓	↓	↓	↓	↑	↑	↓	↓	↑	↑	↑	↓	→
東京都	0.95	1.18	1.00	1.01	54.35	53.40	47.76	47.13	7.31	6.94	6.31	5.74	1.58	1.50	1.42	1.25
前週比	↑	↑	↓	↑	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↑	↓	↓	↓

### 全国の麻疹(はしか)感染者数は2020年以降最多

米国・英国をはじめ世界各地で麻疹の流行が拡大しています。日本でも感染報告が急増し、2026年3月下旬時点で、全国の麻疹感染者数は152人となり、2020年以降の同時期で最多を記録しています。

#### 麻疹はどんな病気？

麻疹ウイルスによる急性ウイルス感染症です。感染力は感染症のなかで最強クラスで、家庭内などの密接な接触環境では、免疫のない人が感染者にさらされた場合、約90%が感染すると報告されています。

#### ●感染力の強さ

- 一人の感染者から12~18人の免疫のない人に感染させる
- インフルエンザの約10倍の感染力
- 空気感染、飛沫感染、接触感染

#### ●潜伏期間・周りへの感染可能期間

- 感染から発症まで7~21日(平均10~12日)
- 発症の1日前から解熱後3日を経過するまで感染力がある
- 症状が無くても他の人に移す期間がある

#### ●かかりやすい人は？

- ワクチン未接種・接種歴が不明の方や1回のみ接種の方
- 過去に罹患歴のない成人
- 1歳未満の乳児



#### 修飾(しゅうしょく)麻疹に注意！

1回のワクチン接種を受けた方や、過去に接種歴のある方が麻疹に感染した場合、典型的な経過をたどらない「修飾麻疹」の報告が増加しています。発熱が軽度な場合や、発疹が淡く分かりにくかったり、コプリック斑が見られないこともあり、症状が軽くても感染力は保持されている場合があるため、麻疹の流行期には「発熱+発疹」があれば麻疹を疑い医療機関にご相談ください。

### 医療機関に受診の前には必ず電話を！

医療機関を受診する際に、「麻疹の可能性がある」と伝え、医療機関の指示に従い受診しましょう。受診時は周囲への感染を防ぐため、公共交通機関等の利用を避けましょう。

#### 「一度かかれば免疫ができる」は昔の話

#### ●第1~4病日:カタル期

##### 38~39℃の発熱、鼻水、結膜炎

最も感染力が高い時期です。風邪を見分けがつきにくく、特徴的な口の中の白い斑点(コプリック班)が2~3日だけ現れます。

#### ●第4~5病日:発しん期

##### 高熱(40度前後)と全身への発しん拡大

耳の後ろ・顔から始まる発しんが、体幹・手足へと広がり、体温が再上昇し、この時期が最も体調が悪くなります。

#### ●第7~10病日:回復期

##### 発しんの消退と解熱

合併症が無ければ徐々に回復します。免疫機能の低下が数週間~数か月続くことから、他の感染症にかかりやすくなります。

#### ゴールデンウィークに海外へ渡航する方へ

海外では、日本にない病気がたくさんあります。麻疹だけでなく渡航先で注意することを事前に確認しましょう。また、ご自身の過去の罹患歴や予防接種歴を確認していただき、必要な予防接種を受けていただくこともご検討ください。

海外感染症発生情報はこちらで確認！！  
 厚生労働省検査所 (FORTH)

